

『平成26年度 街なか再生助成金』

助成事業の報告

本助成金の募集につきましては、今年の2月1日から3月31日までの2ヶ月間行ったところ、全国より20件の応募をいただきました。

応募頂いた全ての事業を確認し、選考委員会による厳正なる審査を行った結果、以下の5事業に対して助成を行うことに決定致しました。

■ 平成26年度助成事業一覧

事業名	団体名	実施場所
岐阜市中心市街地回遊性協議会事業	岐阜市中心市街地回遊性協議会	岐阜県岐阜市
御幸町伝馬町 まちなみ・にぎわい構想づくり研究	御幸町9番・伝馬町4番 地区再開発研究会	静岡県静岡市
セミパブリックスペースの創出 -越谷市中心市街地 街なか居住推進の ための調査研究-	NPO法人越谷市住ま い・まちづくりセンター	埼玉県越谷市
空き地再編型市民事業プロジェクトによる 街なかコミュニティの再生	気仙沼八日町 復興まちづくりの会	宮城県気仙沼市
77まちづくり活動	あかゆらぬ花会 (まちづくり部会)	沖縄県南城市

事業名称	岐阜市中心市街地回遊性協議会事業
団体名	岐阜市中心市街地回遊性協議会
実施場所	岐阜県 岐阜市

事業概要:

柳ヶ瀬を中心とする商店街には商店街振興等を目的とする組織がいくつもあるものの、横断的な連携がなく、商店街としての一体性に欠けている面がある。そのことから、中心市街地の回遊性と人的交流を高めるために設立された当該協議会として、まちづくりへの意識の向上や課題の共有化等を目的に、以下の事業を実施した。

実施報告:

①全体集会・勉強会の開催

- ・ 平成 26 年 5 月 21 日 第 6 回全体集会 開催
- ・ 平成 26 年 6 月 4 日 第 7 回全体集会 開催
- ・ 平成 26 年 9 月 26 日 第 8 回全体集会・勉強会 開催
- ・ 平成 26 年 11 月 11 日 第 9 回全体集会 開催
- ・ 平成 26 年 12 月 17 日 第 10 回全体集会 開催

②協議会シンポジウムの開催

- ・ 平成 27 年 2 月 27 日に、「未来を見据えた創生シナリオ」をテーマに、JR及び名鉄の岐阜駅エリアから玉宮町・神田町、柳ヶ瀬エリア及びメディアコスモスまでの岐阜市中心市街地活性化について、商店街・官・民の枠組みを超えて、出席者が語り合う場としてのシンポジウムを開催した。
- ・ 開催告知用のチラシを作成し、表面は協議会シンポジウムの開催案内、裏面は当協議会の構成員と活動エリアが分かる「協議会エリアマップ」にすることで、広く一般の方々を対象に、協議会シンポジウムの開催と、当協議会のPRを行った。
- ・ 同シンポジウムの様子は映像として残し、当協議会HP上にて閲覧可能にした。

→
全体集会の様子



→
協議会エリアマップ



実施成果:

- ・ 中心市街地の活性化を図るうえで必ず必要となる、商店街と官+民に加え、岐阜県・岐阜市や地元大手企業・大型テナント等を交えた意見交換の場を提供することができ、また、商店街同士の人的交流を高めることができた。
- ・ 協議会シンポジウム開催告知用チラシの「協議会エリアマップ」は、当協議会の存在を、まだ入会していない商店街や世間へ広くPRするツールとして効果があった。
- ・ 当初の計画通り、行政とともに取り組んだ勉強会と協議会シンポジウムを開催し、協議会会員である各商店主達にも、中心市街地の活性化に向けた事業参画の意識を持ってもらうことができた。

事業名称	御幸町伝馬町 まちなみ・にぎわい構想づくり研究
団体名	御幸町9番・伝馬町4番地区再開発研究会
事施場所	静岡県 静岡市

事業概要:

周辺の開発から取り残された街区の再開発の促進を目的に地権者が中心となって設立された研究会において、当該街区だけでなく、周辺地域の活性化や歩行者の流れを取り込んだ『にぎわい』の創出をも目指して、以下の事業を実施した。

実施報告:

①地権者の方々による再開発研究会活動の実施

・総会1回、定例会6回の開催を行う中で、検討内容を高めていくことに努めた。

②周辺活動団体との意見交換の開催

・当地区周辺における大型商業施設事業者、商業発展会、町内会及び自治会等の集まりに対し、再開発構想素案を説明するとともに地域の課題等について意見交換を2回行った。

③静岡市との協議

・当地区のまちづくりの課題や再開発の計画検討に関し、静岡市の担当部局等との協議を行い、市の意向と課題把握に努めた。

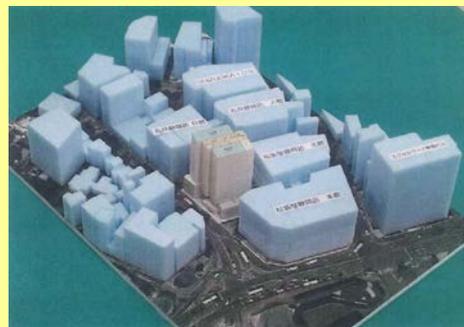
④再開発構想案の作成

・上記の成果を踏まえて、再開発構想案を作成した。

→
研究会の様子



→
地区模型写真



実施成果:

- ・地域の方々と共に、まちづくりを協議・検討するきっかけとなった。
- ・再開発構想案について、地区内地権者の方々の意見に加え、地域の方々の意見を踏まえたものを作成することができ、作成された構想案を説明した際、「まちづくりの方向性は地域のものと同じしている。このまちづくりを全面的に支援していきたい」との意見をいただくことができた。
- ・再開発に参加する事業候補として学校運営者が現れ、候補者と一緒に開発構想案を検討することで、計画への理解も深まるとともに、地域への効果に関しよりイメージしやすく検討することができた。
- ・静岡市との協議を通じ、行政の意見を伺いながら構想案の作成を行うことができた。

事業名称	セミパブリックスペースの創出 -越谷市中心市街地 街なか居住推進のための調査研究-
団体名	NPO法人越谷市住まい・まちづくりセンター
実施場所	埼玉県 越谷市

事業概要:

(越谷市任意の) 中心市街地活性化計画のひとつとして位置づけされている「街なか居住推進事業」の検討を促進するため、民が主体となり、「セミパブリックスペース (半公共空間)」という観点に着目して、以下の事業を実施した。

実施報告:

- ① 現状調査 (まちあるき) の実施
 - ・まちを歩き、現在の街の様子を観察することで見えてくる生活環境を把握し、地図上では把握できない情報や、街が抱えている問題点を見出した。
- ② データベースの構築
 - ・地図上にある情報を、実際に街を歩いた際の情報と合わせ、それぞれの要素 (面・点・線) に分けて表現した。
- ③ 埼玉住まい・まちづくり交流展 2015 in 越谷の開催と勉強会
 - ・現状調査やデータベースの構築から見えてきた問題点や改善点を発表し、行政職員へは情報の共通認識を持ってもらい、市民へは意識啓発を促した。
- ④ モデルケース作成
 - ・文章だけではわかりにくいことを図面や絵、模型などで表現し、官民協働のまちづくりへつなげていくため、市の関係部署に対する提案を行った。
- ⑤ 景観シンポジウム
 - ・事業の最終報告として、調査内容やモデルケースを景観シンポジウムで発表し、今後の活動へつなげていけるように、市職員や市民へまちづくりの重要性を説明した。

→ 歩行者空間の改善提案



→ 大沢橋親水公園平面イメージ図



実施成果:

- ・現状調査やデータベース構築に際し、越谷市職員や多くの関係部署の協力を得ることができた。
- ・埼玉住まい・まちづくり交流展では、目標の5倍程度の参加者を得ることができた。当初はプレゼンテーションボードの展示のみを予定していたが、講演会形式による中間報告を行うことができた。
- ・モデルケースを2案作成し、景観シンポジウム等において最終報告と改善案の提案を行った。市職員への最終報告では、今後、越谷市各課との連携を強化する必要性を共有することができた。

事業名称	空き地再編型市民事業プロジェクトによる街なかコミュニティの再生
団体名	気仙沼八日町復興まちづくりの会
実施場所	宮城県 気仙沼市

事業概要:

区画整理区域外の津波被害で空き地が散在している区域において、行政からの支援が無いため、住民自らが任意事業等の計画を検討することが求められている。地権者や住民主体の復興プロジェクトを推進するために、平成25年度から引き続き、以下の事業を実施した。

実施報告:

- ① 幹事会の開催（H26.6.18）
 - ・代表、幹事、専門家による幹事会を開催し、八日町地区の復興まちづくりの進め方、スケジュールや体制の検討を行った。
- ② 権利関係情報の整理、地権者の意向調査（H26.6～H26.9）
 - ・市役所の協力を得て、登記簿や課税台帳から権利関係情報の整理を行った。
 - ・専門家の協力を受け、地権者の意向調査を行った。
- ③ 勉強会の開催（H26.10.9～H27.2.5：計3回）
 - ・専門家チームの協力を受け、「空き地再編型市民事業の事業計画」を地域住民に説明し、次年度以降の検討方針の確認を行った。
- ④ ニュースの発行等による広報活動
 - ・ニュースを作成し、地域住民に配布するとともに、町会役員には本活動報告書を配布した。

→
幹事会の様子



→
検討された計画案の模型



実施成果:

- ・プロジェクトの検討候補地の地権者の合意形成については、おおむね達成することができた。
- ・災害公営住宅の1階の店舗（福祉カフェ）の所有者による「まちづくり会社」が、平成27年度の早い段階で設立される予定である。

事業名称	77まちづくり活動
団体名	あかゆらぬ花会（まちづくり部会）
実施場所	沖縄県 南城市

事業概要:

既成市街地に近接して整備される高規格道路の建設を契機に、若者の定着・定住を促し、雇用創出が図れるよう、地域特性を生かした魅力あるまちづくりを実現するため、以下の事業を実施した。

実施報告:

- ・南城市の総合計画や都市計画マスタープラン、ちゃーGANJUCITY構想などを勉強するとともに、地域の草刈・清掃活動を開始した。（言葉の意味：ちゃー<いつも、常に>、GANJU<がんじゅう、元気>）

① 南城市まちづくり勉強会の開催（H26.8.22）

- ・市民、南城市まちづくり関係4課の職員、都市計画専門家など、約35人が参加した。

② 南城市まちづくり 大里の魅力あるまちづくりシンポジウムの開催（H27.2.28）

- ・市民、南城市職員、南城市商工会職員、地域づくり活動家、まちづくり専門家など、約40人が参加した。

→
まちづくり勉強会
の様子



→
まちづくりシンポジウム
の様子



実施成果:

- ・南城市のまちづくりが具体的に動き出している現状を踏まえ、地域の草刈・清掃活動を開始した。
- ・勉強会では、地域づくり先進地を訪ねて街並みを視察するとともに、地域活動家と交流を行った。
- ・南城市役所、商工会と連携し、「南城市まちづくり 大里の魅力あるまちづくりシンポジウム」を開催した。この結果、地域で活躍している若い市民リーダーの思いを聞くことができ、通り会を結成する方向で市民意見をまとめることができた。